



山形大学
Yamagata University

2021年卒業 内定者に関する調査報告

学術研究院（学士課程基盤教育機構）

山本 美奈子

松坂 暢浩

調査の概要

1. 調査のまとめ

2. 対象者全体の内定状況

2-1 基本属性（3キャンパスの2021年卒の内定者）

2-2 内定先と都道府県別進路状況

3. 就職活動の状況

3-1 就職活動中に参考になった情報源

3-2 就職活動中によく相談した人

3-3 就職活動中に困ったこと

3-4 就職活動中に知りたかったこと

3-5 就職活動中の活動量

3-6 就職活動の終了時期

3-7 内定承諾の理由

3-8 内定辞退の理由

4. 大学の就職支援に対する評価 （全体、各キャンパス）

1. 調査のまとめ

1. 対象者全体の内定状況のまとめ

- ・ 民間企業の内定者は69.7%、公務員は22.5%
- ・ 30.3%が山形県内の就職を検討
- ・ 山形県内の内定者は19.0%
- ・ 南3県（宮城、山形、福島）の内定者は38.7%

2. 就職活動の状況のまとめ（1）

- ・ 情報源で参考になったのは、リクナビやマイナビなど大手就職情報サイトや先輩からの助言、大学のキャリアセンターからの情報であった
- ・ 困りごとは、コロナ禍における合同企業説明会の中止、選考スケジュールの変更、県外移動への不安が多かった

1. 調査のまとめ

2. 就職活動状況のまとめ（2）

- ・ 6月までに内定先を決めた割合は、43.0%
昨年度の同時期よりも、19.0%低い状況だった
- ・ 10月には、9割近くが内定先を決めていたが、11月以降に決まった学生も1割以上いた
- ・ 就職活動量として、エントリー数や面接回数、内々定獲得が例年より下回っていた
- ・ 内定承諾の理由は、第一志望の企業であったから、雰囲気良かったから、地元の就職を希望していたからなどの理由があった
- ・ 内定辞退の理由は、第一志望でなかったから、勤務地や全国転勤、給与・福利厚生などの条件面で合わなかったなどの理由があった

1. 調査のまとめ

3. 大学の就職支援に対する評価

- ・ 就職支援満足度は、大変満足、満足をあわせると56.4%（昨年より11.5%低下）
- ・ 各キャンパスごとに分類すると、
 - ① 小白川キャンパスが、大変満足、満足をあわせると56.5%（昨年より9.0%低下）
 - ② 米沢キャンパスが、大変満足、満足をあわせると59.6%（昨年より15.4%低下）
 - ③ 鶴岡キャンパスが、大変満足、満足をあわせると42.9%（昨年より12.7%低下）
- ・ 改善要望としては、LINE等でのイベントの掲示をもっとして欲しかったなどが挙がっていた

2-1 基本属性 (n=142)

3キャンパスの2021年卒の内定者が対象 回答者は142名、平均年齢22.8歳

性別	回答者数	割合 (%)
男	73	51.4%
女	69	48.6%
合計	142	100.0%

出身高校所在地別	回答者数	割合 (%)
山形県	35	24.7%
宮城県	25	17.6%
福島県	11	7.8%
岩手県	6	4.2%
秋田県	10	7.0%
青森県	5	3.5%
その他地方	38	26.8%
大都市圏	12	8.4%
合計	142	100.0%

文理別	回答者数	割合 (%)
文系学部(養護教諭含む)	62	43.7%
理系学部	40	28.2%
文系大学院	4	2.8%
理系大学院	36	25.3%
合計	142	100.0%

山形県内の就職を検討	回答者数	割合 (%)
検討していた	43	30.3%
検討していない	99	69.7%
合計	142	100.0%

- 30.3%が山形県での就職を検討

2-2 内定先と都道府県別進路状況 (n=142)

- ・ 民間企業の内定者は69.7%、公務員は22.5%
- ・ 山形県の内定者は19.0%
- ・ 南3県（山形、宮城、福島）の内定者は38.7%

内定先(本社) 所在地	回答者数	割合 (%)	内定先(本社) 所在地	民間企業 (%)		公務員 (%)		学校教員 (%)		※その他 (%)		合計 (%)	
山形県	27	19.0%	山形県	12	8.5%	9	6.3%	4	2.8%	2	1.4%	27	19.0%
宮城県	23	16.2%	宮城県	13	9.2%	9	6.3%	1	0.7%	0	0.0%	23	16.2%
福島県	5	3.5%	福島県	4	2.8%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	5	3.5%
岩手県	3	2.1%	岩手県	2	1.4%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.1%
秋田県	4	2.8%	秋田県	4	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.8%
青森県	2	1.4%	青森県	1	0.7%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%
その他地方	35	24.7%	その他の地方	26	18.3%	7	4.9%	2	1.4%	0	0.0%	35	24.6%
大都市圏	43	30.3%	大都市圏	37	26.1%	4	2.8%	1	0.7%	1	0.7%	43	30.3%
合計	142	100.0 %	合計	99	69.7%	32	22.5%	8	5.6%	3	2.1%	142	100.0 %

※「その他」3名はそれぞれ大学院進学、起業、派遣登録

3-1 就職活動中に参考になった情報源（複数回答）

情報源	回答者数	割合 (%)
就職情報サイト（リクナビ、マイナビなど）	103	24.2%
先輩からの助言	48	11.3%
大学のキャリアセンター・サービスセンター・就職情報室での個別相談や主催する就職セミナーなど	32	7.5%
学内で開催された企業・自治体などの個別企業説明会	27	6.4%
学外で開催された企業・自治体などの個別企業説明会	27	6.4%
同級生	26	6.1%
OBOG	26	6.1%
学外の合同企業説明会	25	5.9%
大学の求人検索ナビ	18	4.2%
家族（親、祖父母、親せきなど）	17	4.0%
自治体の情報（地元就職に関する情報など）	16	3.7%
学内の合同企業説明会	13	3.1%
ゼミや研究室の教員	12	2.8%
その他	12	2.8%
学部・学科が主催するセミナーやイベント	10	2.4%
ハローワーク（新卒応援ハローワーク）	10	2.4%
特に役立った情報源はない	3	0.7%
合計	425	100.0%

142名中
425個の記載

上位は、

- ・ リクナビやマイナビの就職情報サイト
 - ・ 先輩からの助言
 - ・ 大学のキャリアセンター
- が占めていた

3-2 就職活動中によく相談した人（複数回答）

外部の相談者は、同級生や先輩。身内では、母親が多い。

相談者(外部)	回答者数	割合 (%)
同級生	60	26.0%
先輩	44	19.0%
大学のキャリアセンター等の職員	39	16.9%
その他	22	9.5%
ゼミや研究室の教員	20	8.7%
大学のキャリアセンター等の教員	18	7.8%
ハローワーク（新卒応援ハローワーク）の相談員	16	6.9%
OBOG	12	5.2%
合計	231	100.0%

相談者(身内)	回答者数	割合 (%)
母親	46	56.8%
父親	32	39.5%
親戚	3	3.7%
合計	81	100.0%

その他（自由記述）
相談していない
生協主催の公務員試験対策講座担当者
アルバイトやインターン先の社員
兄、姉、妹
リクナビのエージェント
日本人の友人

その他のうち6名が、「相談していない」と記載

3-3 就職活動中で困ったこと（自由記述）

- ・ 困りごとは、コロナ禍における合同企業説明会の中止、選考スケジュールの変更や、県外移動への不安などが多い

就職活動を振り返り、活動中に「困ったこと」(自由記述の一部抜粋)

コロナ禍で高速バスを利用することに抵抗があり、新幹線を利用していたため、費用がかさんだこと。

首都圏など感染者数が多いのに直接現地に行かなければならなかったこと、山形と首都圏の交通費がとてめかかったこと。

移動や宿泊にかかるお金。

スケジュールが読めなかったこと。

コロナウイルスの影響で、採用スケジュールが延期になった企業があり、企業によって内定時期がバラバラだったこと。選考の全てをwebで行う企業もあれば、本社に赴かなければいけない企業もあり、混乱する上に、コロナウイルス感染の恐怖もあったこと。

県外での就活だったので、交通費や宿泊費の負担、コロナの感染リスクが怖かった。

関東方面の公務員も受けるつもりだったが、コロナが流行中の中東京に行くのが嫌で、断念した。途中まで民間も考えていたが、実家でオンライン面接を行うのが難しいと感じた。

とにかく面接の日程が決まらないことが一番困った。3月の面接が全て無くなり、4・5月もなかなか連絡が来なかったこと。

コロナ禍で人に会うことができなかったので、周りの人と情報共有が難しかったこと、自分だけ知らない情報があるのではないかと不安だった。

山形大学の合同企業説明会が直前に中止になってしまったこと。

企業に直接訪問できないところが多く、実際の雰囲気わからない。

志望度の高い企業が軒並み、新卒採用中止になってしまったこと。

オンライン面接の環境を整える必要があったこと。また、前例が少ないオンライン面接のマナーが分からず困った。

Webに切り替わり相談しづらい環境になったこと。

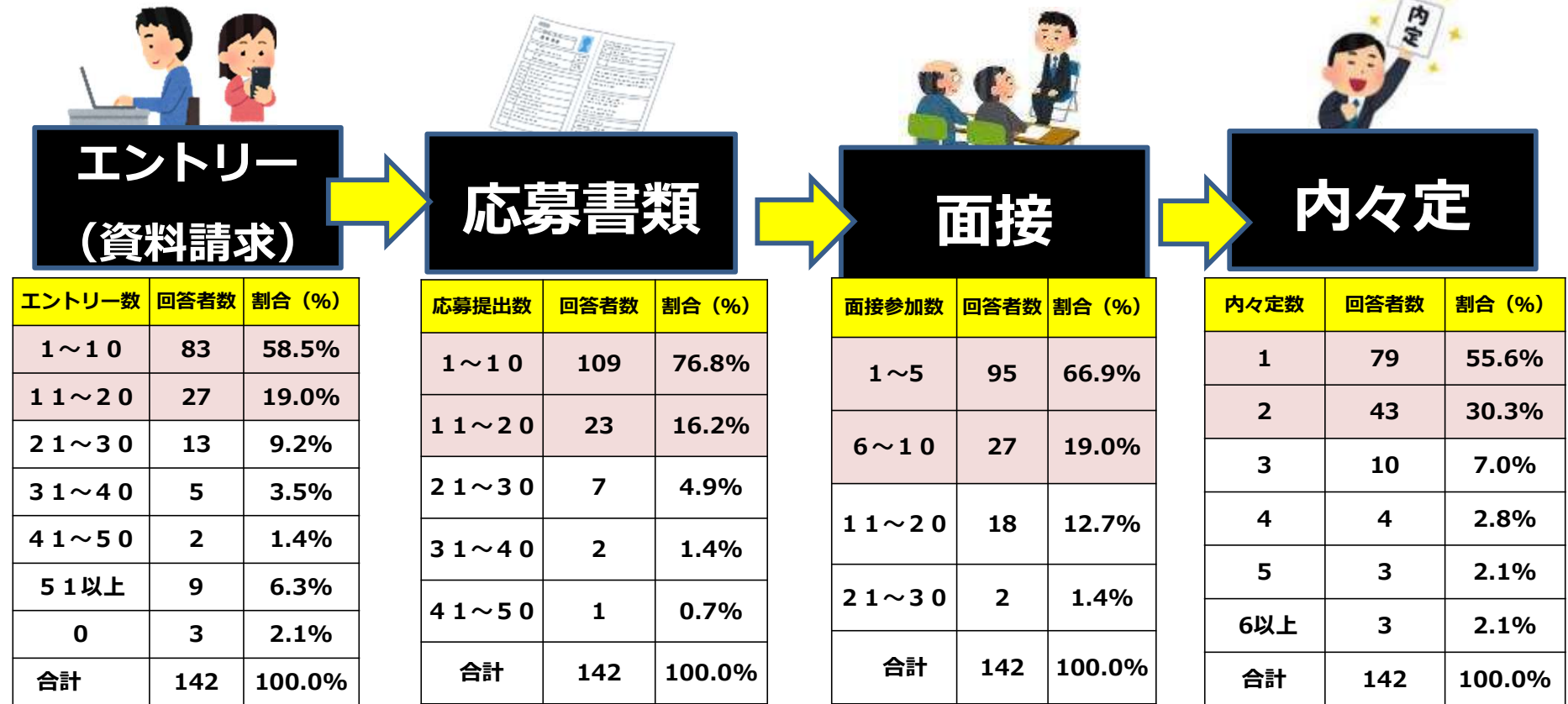
相談がしにくい。普段ならふらっと立ち寄れる研究室や相談窓口に行くのにも予約が必要で、ハードルが高く感じた。

3-4 就職活動中に知りたかったこと(自由記述)

活動中に「もっと知りたかったこと」(自由記述の一部抜粋①)	活動中に「もっと知りたかったこと」(自由記述の一部抜粋②)
適性検査の取り組み方について。	社内の雰囲気や、社員とのお話で得られる情報。
地元の情報	コロナ感染拡大以降に知った企業の雰囲気。
ESの詳しい書き方や面接対策の方法。人と話すのが苦手なためセミナー系の参加ができなかったのが辛い。	面接対策の講座はもう少し多くしてほしい。質問への答え方は話のまとめ方等はほとんど自分で調べていたので。
会社の内情	企業比較をする前に、会社の基本(給料や保険など)を知りたかった。
先輩たちともっと話をする機会が欲しかった。	周りがどのように勉強していて、どのような状況であるのか。
みんなが今何してるのか	周りの人の状況。順調に進んでいるのか自信がなかった。
「服装自由」で面接に向かう場合の、最低限の服装	企業の業務提携
公務員試験の勉強方法	入ってからどのように異動したり、昇級したりするのか。
化粧の仕方	詳しい職務内容
web面接で気を付けること、マナー(多数)	マイナビやリクナビ活用のデメリット。県内就職をよいと感じさせるそもそもの人生観。
業界地図全体的にどんなものがあるか、どの企業がどのような立場なのか、もっと全体を把握できる媒体を買っておけばよかったと思った。	企業や自治体の面接情報
周りの就活生がどのような動向だったか。	企業の人と会える機会
社員の雰囲気、業務環境など全体的な雰囲気・風土	離職率
息抜き方法	専門職の求人
コロナ禍における業種の行く末	会社の内部事情やキャリア形成の例について。オンラインベースだったので社員と直接接する機会が少なかったため。
会社の選び方	専門分野が活躍できる仕事がある会社は何かあるかもっとしておきたかった。
試験情報、(教員採用試験)	各社の労働環境や具体的な賃金体系について。ある程度選考が進まない、具体的な情報を提供してもらえなかった。
業界よりも企業や働いている人の情報をもっと知るべきだと思った。	会社の悪い部分など働いてみないと分からないこと。
就活の力の入れ方	情報を得ることがむずかしく、志望先を比較することが難しかった。
面接は雑談系の雰囲気が多かったこと。気構えすぎずに、気になった企業は受けてみるくらいの気持ちでもよかったと今思う。	自分に合った職種、企業の探し方
エントリーシートの書き方	
企業の求人や説明会日程などを知りたかった。まだ採用活動を続けているのか終わっているのか、よくわからない企業が多かった。	

3-5 就職活動中の活動量 (n=142)

エントリー数や面接回数、内々定獲得が例年より下回る



<参考：全国平均>

24.79

12.36

7.84

2.35

3-6 就職活動の終了時期 (n=142)

- ・ 6月までに内定先を決めた割合は、43.0%
昨年度の同時期よりも、19.0%低い状況だった
- ・ 10月には、9割近くが決まっていたが、11月以降に決まった学生も1割以上いた

内定先（就職先）に決めた「時期」 （就職活動終了時期）	回答者数	割合(%)
3月より以前	5	3.5%
3月	6	4.2%
4月	13	9.2%
5月	19	13.4%
6月	18	12.7%
7月	12	8.5%
8月	15	10.6%
9月	16	11.3%
10月	20	14.1%
11月以降	18	12.7%
合計	142	100.0%

3-7 内定承諾の理由（自由記述）

- ・ 内定承諾の理由は、第一志望の企業であったから、雰囲気良かったから、地元での就職を希望していたからなど

内定承諾をした理由（自由記述の一部抜粋）
ずっと目指してきた職場であったため。
自由度が高そうだったから。
将来のキャリアが見えたから、人間関係が良さそうに見えたから。
地元で専門性を活かして働けることに魅力を感じたから。
自分のやりたいことができる企業だったから。
面接で相性が良いと感じたから。自分の内面をみて認めてくれたように感じた。
地元で働けるから（複数あり）。
①面接の際に人となりを知ろうとしてくれていたのが伝わったため；形式ばった質問ばかりではなく、もっと深いところまで話を聞いてくださった。②内定の連絡の際もなぜ私に来てほしいのか、説明をしてくださったから。
山形市内で働くことができ、労働条件も自分の希望したものと合っていたから
その仕事に就きたかったから。
時間が無かった。そこしか受からなかった。
面接の雰囲気。お会いした社員の方の雰囲気。コロナが流行りだしてすぐのときでしたが、直接会って面接出来た。第一志望先だったから。
地元で根差した企業であったから。
自分の適性にあっており、かつ入社後のキャリアがある程度自分の意志で組み立てられると考えたから
論文に間に合わないから、とりあえずこの内定先がいいかなって思って決めた。
地元ではないが、愛着のある自治体だったから。
楽しそうだから。
岩手県の沿岸地域の復興に関われるから。
最初に内定をいただいたから。
ずっとアルバイトしていて自分が働いているイメージが付きやすかった。職場の雰囲気も良かったから。
働くことに対する自分の価値観と、企業の理念が一致したため。また、自分が持っている良さを活かせると感じたから。

3-8 内定辞退の理由（自由記述）

- ・ 内定辞退の理由は、第一志望でなかったから、勤務地や全国転勤、給与・福利厚生などの条件面であわなかったなど

内定辞退の理由（自由記述の一部抜粋）

やりたいことと少し違った。

全ての就職活動を停止しないと内定は剥奪するというような主旨のことを言われたため。まだ自分で挑戦したい企業が多かったので、辞退した(3月初旬)

業務内容の好みの違い

待遇が決めた所と比較して良くなかったから。

内定承諾先企業に強く惹かれたため。また、労働環境や職務内容がより自分に適していると考えたため。

転勤が多い休みが不定期だったから。

転勤範囲が広がった。

転勤が多かったから。製造している製品にあまり魅力を感じなかったから。

給与水準が低い。

国内大手飲食でも、コロナの影響を受けており、アフターコロナでも飲食店の店長として働く自分が想像ができなかったから。大手企業の子会社、物流部門ではあったが、親会社に入社できれば異動で物流の経験もできるため、様々な経験を積むために親会社に入社を決めた

勤務地が実家から遠いこと、転勤の頻度が高いこと。

配属先がどこになるか、内定の時点ではわからなく、メインの拠点が実家から遠かったから

面接の際に寝ていた人がいたこと。自分の専攻と少しズレていたこと。全国転勤だったこと。

残業が多いのが気になっていたが、後から調べたらあまり評判が良くないと聞いたため辞退することにした。

働いている雰囲気怖い感じがしたから。表面だけを取り繕っている感じがしたから。

アルバイトをさせてもらっていて、自分の働きたい環境とは違うと思ったから。

ノルマや直近3年後離職率がとても高いなどブラックだと判断、女性と男性(当方女性、知り合いのその会社の内定者が男性)で扱いや言っていることが違った。

コロナで連絡が遅かったため。

楽しくなさそうだから。

4. 大学の就職支援に対する評価（全体）

- 大学の就職支援満足度は、大変満足、満足をあわせると56.4%（昨年より11.5%低下）

就職支援満足度	回答数	割合
大変満足している	12	8.5%
満足している	68	47.9%
どちらともいえない	46	32.4%
あまり満足していない	13	9.2%
まったく満足していない	3	2.1%
合計	142	100.0%

小白川キャンパス：就職支援の評価、満足内容と要望

**大変満足、満足をあわせると56.5%
(昨年より9.0%低下)**

就職支援満足度	回答数	割合
大変満足している	9	11.8%
満足している	34	44.7%
どちらともいえない	26	34.2%
あまり満足していない	5	6.6%
まったく満足していない	2	2.6%
合計	76	100.0%

●満足内容（一部抜粋）

- ・ 個人相談は親身に相談に乗ってくださり、大変参考になった。また求人や説明会の情報をメール配信や求人検索ナビで知らせてくれるのが、貴重な情報源で参考になった。
- ・ 積極的に動く人をサポートする体制がきちんと整っていると思いました。
- ・ 2日間の集中セミナーに参加して、就活に向けて具体的に自分に足りないところはどこか知ることが出来て良かった。

●改善要望（一部抜粋）

- ・ キャリアセンターに大変お世話になったが、相談やES添削などの需要と職員の供給が足りていなかった感がある。また、オンライン就活に不慣れな人を支援するための体制が整うのに時間がかかっていたように感じた。
- ・ オンラインでも学生の情報共有が出来るようにしたら良い。例えば、同じ業種を目指してる人を繋げるなど。
- ・ イベントの開催などが分かりづらかった。

米沢キャンパス：就職支援の評価、満足内容と要望

**大変満足、満足をあわせると59.6%
(昨年より15.4%低下)**

就職支援満足度	回答数	割合
大変満足している	3	5.8%
満足している	28	53.8%
どちらともいえない	15	28.8%
あまり満足していない	6	11.5%
まったく満足していない	0	0.0%
合計	52	100.0%

●満足内容（一部抜粋）

- ・セミナーなどで早いうちから就活を意識するようになったので、スタートダッシュを決めることが出来て良かった。
- ・先輩の体験談は参考になった。周りのモチベーションの差が顕著だった。
- ・個別相談で面接の練習や相談に乗ってくださったことが大変助かった。

●改善要望（一部抜粋）

- ・大学に通ってないと大学内の情報が得られない。キャリアサポートセンターのLINEアカウントも大学に通っていたから知ることができた。現在の学生はオンラインの授業ばかりだが、大学の情報を得られているんでしょうか？
- ・チラシも良かったが、LINE等での掲示がもっと欲しかった。
- ・SPI講座をもう少し開いてほしかった。

鶴岡キャンパス：就職支援の評価、満足内容と要望

**大変満足、満足をあわせると42.9%
(昨年より12.7%低下)**

就職支援満足度	回答数	割合
大変満足している	0	0.0%
満足している	6	42.9%
どちらともいえない	5	35.7%
あまり満足していない	2	14.3%
まったく満足していない	1	7.1%
合計	14	100.0%

●改善要望（一部抜粋）

- ・ 公務員試験の情報は少なく感じた。
- ・ もっと面接練習の機会がほしいです。
- ・ 農学部での支援は、あくまでも農学部生が行きがちな業界の話ばかりで自分には参考にならなかつたような気がする。学部にかかわらず業界別で話を聞ける機会があればうれしかったと思う。(学部卒ならそこまで分野ごとの専門職に就くというわけでもないのに)
- ・ ハローワークやその其他人材派遣関係の学外に委託してる方の就活指導が威圧的で不安を煽るものであった。しっかり学校で斡旋して欲しい。また、専攻外の業界の情報がまったくなく、「自分で調べるのが身になる」という言葉で一蹴された。なんのための就活支援ですか？